

## 川内川に清流を

## 取り戻すために



麦田 博穂議員

麦田博穂議員 町長は十四年度施政方針で、川内川の水質汚濁の問題や水草の異常繁殖、外来魚の影響等で年々漁獲量が減少しているのを、河川の水質改善や環境浄化に取り組みとともに、魚族の繁殖保護、資源の枯渇防止のために稚魚の放流を実施していくと表明されたが、基本になる川内川が昔のようなきれいな川にならないと、放流の効果も上がらない。川内川を、鮎が釣れ、子供が泳げる川にするために、関係市町、機関で実態を調査し、解決策を探り、統一した条例を早く作るべきではないか。

## 関係市町に働きかける

北村町長 町の中央を流れている川内川をきれいにすることは、永年の懸案であるが、簡単には効果があがらない。実態調査、解決策の指針、条例制定等については、「川内川をみんなで考える会」で環境や利活用について検討され、河川整備計画に反映させることになっているので、この組織を中心に関係市町に働きかけていく。

## 川内川汚濁の原因は

麦田議員 国や県は、環境基準による水質検査を行い、川内川は九州の一級河川であるので最もきれいな川であると平成十一年に発表したが、我々には実感が無い。家庭からの雑排水、家畜の糞尿、農業、肥料、工場廃水、ダムによるものが原因で、汚濁が進んでいると思うがどうか。

## 生活系が最大の原因

町長 汚濁は工場等の産業系、家庭からの生活系、山林、農地等の自然系の汚濁物質が、河川の浄化能力を超えて流入したときに起こる。産業系は排水基準が定めてあり、規制や指導がなされており、都市

化による家庭からの生活排水が最大の原因と考える。

## ダムによる影響は

麦田議員 上流から汚染物質が流れ込み、ダムに停留することによって、富栄養湖になり、下流の生態系が変わってきたのではないか。実態を調

査して対策をとるべきではないか。

## 一因があると思う

町長 支流については、生活排水が流れ込んでいても、本流よりもきれいであることを考えると、一因があるのではないかと思う。川を蘇らせるために因果関係を調べて、漁協の方々と一大運動を展開する。

## 「河川浄化」

## への対策は

麦田議員 「宮之城遊遊会」の今までの活動が認められ、県表彰を受けられたが、学校の総合学習の時間で「竹炭」を利用した河川浄化等、具体策を進めるべきではないか。

## さらに努力を

町長 合併処理浄化槽設置推進事業、廃油石鹼づくりの出席講座、合成洗剤の環境への影響の啓発活動等、さらに努力していく。



町の中心部を悠々と流れる川内川